

30th Annual Meeting of Wound Healing Society
(シャーロット) に参加して

順天堂大学医学部形成外科学講座 田中 里佳

2018年4月25日から29日までの間、アメリカノースカロライナ州シャーロット市にてアメリカ創傷治癒学会学術集会(WHS)が開催されました。今回の大会長は Brigham & Women's Hospital and Harvard Medical School の Elof Eriksson 先生が務められ、最先端の創傷治癒研究を中心に創傷治癒に関係する基礎研究者、臨床医、医療従事者が交流を深めつつ、多くの情報と意見の交換ができる大会になることを望まれて開催され、盛大な会となりました。

WHSの初日の最初のセッションは毎年、Wound Healing Foundation (WHF) が主催する Hunt Lecture から始まります。Hunt Lecture は 2013 年より、WHF が創傷治癒研究とその発展に多大な貢献をされた Thomas K. Hunt 先生に敬意を表し講演会が開催されるようになりました。毎年 WHF メンバーが世界的に著名な創傷治癒研究者の中から協議を重ね選出された方が講演されます。今年は、Laboratory of Mammalian Cell Biology and Development Investigator, Howard Hughes Medical Institute Rockefeller University の Elaine Fuchs, PhD 先生が「Coping with Stress: Stem cells in injury, cancer and inflammation」について素晴らしい講演をされました。皮膚の幹細胞は外傷などによる損傷に対して迅速に反応し組織再生を促さなければなりません。Elaine Fuchs 先生は、表皮幹細胞がどのように quiescent な状態から組織再生状態に移行するのかを研究されています。今回は、genetic and genomic アプローチにて表皮幹細胞の分子レベルにおける皮膚再生、発毛、炎症、癌化の関与について最新の研究成果を発表され大変興味深かったです。Hunt Lecture で、



左からWHFメンバー
Manuela Martins-Green
先生、赤坂喜清先生、WHF
会長 Laura Parnell 先生、
著者、岡根谷哲哉先生



NEWS
LETTER

日本創傷治癒学会
2018.7
No.106

●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学

医学部形成外科学教室内

tel.03-3351-4774

fax.03-3352-1054

e-mail: info@jswh.com

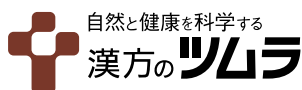
URL : <http://www.jswh.com>

ノーベル賞候補者とも呼べる研究者の話の聞けることで、多くの研究者が刺激を受け、さらなる創傷治癒研究に取り組み活躍することを期待し、WHFは本会の開催のため資金調達などを含めて尽力しています。WHFはその他に数々のグラントを提供し、WHSでは受賞者が研究発表を行った後に授賞式を実施しています。WHF-3M Awardが最も大きな賞であり、3M社が受賞者に年間\$15,000を助成しています。WHF活動のための寄付金調達も一つのミッションとなっており、私はWHFのメンバーとして苦勞もありますが、WHSの発表でWHF助成金により素晴らしい研究が発展していることを知るとWHFの活動の意義と重要性を再認識できます。

最後に、アメリカノースカロライナ州シャーロット市は、州最大の都市であります。会場はダウンタウ

ンの中心にある Convention Centerで開催され、市内には美術館や博物館などがあり、アメリカ最大のモータースポーツ総括団体であるNASCARの聖地として知られ、NASCAR聖堂があるようです。今回は観光をする時間がなかったので次回の楽しみに取っておくこととしました。

漢方医学と西洋医学の融合により 世界で類のない最高の医療提供に貢献します



<http://www.tsumura.co.jp/>

●お問い合わせは、お客様相談窓口まで。

【医療関係者の皆様】Tel.0120-329-970 【患者様・一般のお客様】Tel.0120-329-930

(2017年2月制作) PPCAB02-K